

“昭和・平成そして令和へ 築いてきた 同窓の輪 活かそう新しい世代へ”

関東さつなん

第36号



コロナ対策もばっちりの会場で開催



阿久根支部会長あいさつ



橋口支部会長あいさつと
堀之内小学校長紹介



講師の神田京子さん



華やかなおはら踊り



新会員と学校長&先生



有園先生より学校近況報告

東知覧会前原会長の乾杯で懇親会が始まりました。

第三部は来賓代表として川辺高等学校東京同窓会森山会長より川辺高校の近況や今後の活動についてご挨拶をいただき、

阿久根支部会長より、会員皆様の温かいご支援とご理解ご協力により、今年の支部総会が開催できた感謝の意と、伝統ある母校と関東支部総会の歴史が継

令和四年度
総会・懇親会模様

野崎耕二(志30年卒)
発行所 薩南工業高等学校
同窓会関東支部
編集発行人 阿久根 学
編集 各科編集委員
発行日 2023年8月5日
印刷所 株式会社 盈進社
東京都千代田区飯田橋1-5-7
TEL 03(3262)3471

③多種多様な形態と性格が関

特別講演の主な内容は、
一、今回の講演を聴けば、来世は天才になれる。
二、真言宗開祖、空海と、イタリヤ・ルネサンス期の芸術家、レオナルド・ダ・ヴィンチには生き方や考え、美と思想に多くの共通点がある。



特別講演
レオナルド・ダ・ヴィンチの前世は空海だった？

三年ぶりに出会えた思いを開放するのうちに、テーブルを移動しながら楽しい会話が聞こえていました。余興として登場した女性講師の神田京子さんの「金子みすゞの詩」をテーマにした講演は、コロナ禍で気付いたことを織り込みながら笑いあり、感動ありで会場は一気に話術のとりこになっていました。

①中心に強い磁力をもつ。
②演劇的な空間構成で、身体

五、私が丹下健三事務所ですんだことに、「アイデア」と「ヒント」と「努力」を重ねることが重要であるということでした。

④自由な発想で、有機的(生かし合う)関係が表現されている。
三、二人は、観察力、分析力、独創性、表現力、創造力にきわめて優れていた。

意見がありました。話し合いを続け、可能な感染防止対策をすべて行い、会員の皆さんにも実行協力していただき開催したいという意見でまとまりましたが、最終的に実行役員が開催に向けて一つになったのは、会員の皆様から届いた、総会に「出席します」の返信ハガキでした。出席者の皆様の元気な姿を見て、開催して本当に良かったと思えました。総会への参加者が高齢化で減少する中、今後は新卒の新しい会員の参加にも取り組まねばなりません。これからも多くのご出席、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(昭和六十年建築科卒
柿迫 浩人/記)

本誌ガイド

同窓会関東支部総会のお知らせ

日時 令和五年十月十四日(土)
受付 午前十時半から
開始 午前十一時より終了十五時
場所 「総合宴会場 オールラム(上野) 地下二階ロイヤルⅠ・Ⅱ・Ⅲ

台東区東上野一―二六―一
電話 〇三―五八―二一―二二三

交通
山手線・京浜東北線 御徒町駅北口徒歩8分
大江戸線 つくばエクスプレス線
新御徒町駅【A―】出口……………徒歩2分
日比谷線 仲御徒町駅北口……………徒歩6分
銀座線 稲荷町駅……………徒歩5分

特別講演 折尾 崇氏(平成七年 機械科卒)
演題 『私の生き方・働き方』
若くして多岐にわたる経営者としての経験談です。

年会費納入のお願い

薩南工高同窓会関東支部は、これまで皆様方のご協力のもと「活力ある支部活動」を心がけ運営してまいりました。今日まで休むことなく活動できましたのも、皆様方のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

今後とも安定した会の運営には、皆様の年会費納入が必須の条件であり、また、年会費が同窓会活動の唯一の財源です。ぜひ、同窓会活動の趣旨をご理解いただき、同封の振替用紙でご送金お願い申し上げます。 役員一同

支部年会費は 2,500 円です。
どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

*「昭和・平成そして令和へ 築いてきた同窓の輪」……1
〜令和四年総会模様と特別講演〜
*本誌ガイド
〜年会費納入のお願い〜
*同窓会関東支部総会のお知らせと特別講演案内
*永崎一則先生、徳島会のご報告
*母校だより(各科の近況)……………3
*偉大な先輩を偲ぶ……………4
〜永崎一則先生を偲んで〜
*野崎耕二画伯を偲んで
*支部会員だより……………5
*支部会務・会計報告・役員名簿……………6
〜編集後記〜



ご挨拶

本部同窓会会長 橋口 良一

日頃より関東支部の皆様方には本部同窓会の運営に対しご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

会報「関東さつなん」が会員相互の親睦融和と情報交流の場として長きに渡り発行されて...

昨年、新型コロナウイルスの感染対策を講じながらも総会や懇親会などが開かれ、久しぶりに関東支部の皆様と顔を合わせ、親睦を深めることができました。



新しい時代に向けて

関東支部会長 阿久根 学

伝統と歴史に輝く関東さつなん同窓会支部会長の阿久根です。

同窓会員の皆様におかれましては健康で無事にお過ごしのことと思います。

参加者は少々少なめでしたが会場を広く使用し、又コロナ対策も万全を期して行われました。



ご挨拶

薩南工業高等学校校長 久米村 順一

同窓会会員の皆様、私はこの度の人事異動によりまして、前任の堀之内校長先生の後任として赴任して参りました。

この南薩地区は初めての勤務であり、緑豊かで静かな知覧の町並みと薩南工業高等学校の凛とした佇まいに、そして素直で明るい生徒たちの様子に、こ

工業・準人工業・鹿屋工業の校長先生や同窓会の方との交流会が行われました。そこで各学校の問題等が話し合われ、今後の学校と同窓会のあり方について協議が行われました。



永崎一則先生「偲ぶ会」のご報告

永崎一則先生を「偲ぶ会」は草木が芽吹き出す緑の明るく美しい時期での四月十一日永崎一則先生とのゆかりの会場小石川後楽園「涵徳亭」にて会式は執り行いました。

永崎一則先生は同窓会関東支部の「育ての親」であり、特別講演や会報誌の添削、ご指導として役員の方々の文章力講座強化に多大な貢献をされました。

ここで勤務できる喜びを感じております。また、母校への教育活動に対し、日頃からの物心両面に渡り暖かいご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本校は本年度八十九名の新入生を迎え、創立百十四年目となりました。五月八日から

新型コロナウイルスの感染症、法上の位置づけの変更により、これまでコロナ禍での制限や縮小の多かった学校行事が、以前のような活動ができるようになることを期待しています。

徒共々教職員一同で推進する所存です。同窓会活動におきましても、コロナ感染症の状況を踏まえながらではありますが、今後更なる活発な活動が行われることを祈念してまいります。

総合建設業
眞生工業株式会社
東京都知事許可(特-30)第114762号

代表取締役 **眞畑 徳盛**
(S36年 採鉱科卒)

[薩南工高同窓生 4 名在籍]

〒191 0061 東京都日野市大坂上2 10 11
TEL (042) 582-8750
FAX (042) 582-8751

人と環境への思いを持って
地元とともに未来を築く。

橋口建設株式会社
Hashiguchi Construction CO., Ltd.

取締役会長 橋口 良一 (S41年 土木科卒)
代表取締役 北 寛 郎 (H4年 建築科卒)

〒897-0133 鹿児島県南九州市川辺町下山田9 8 9
Tel: 0993-57-2511 Fax: 0993-57-2034
URL: http://hasiken.co.jp/

偲ぶ会参加の皆様方

ARCHITECTS ASSOCIATES YOKOHAMA

株式会社 **アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ**

代表取締役 **平山 正義**
(S49年 建築科卒)

横浜市西区桜木町5-24-3 サンワビル
TEL045(201)7062 FAX045(201)7176
URL http://www.aa-yokohama.co.jp

株式会社SAWAコーポレーション

代表取締役 **沢津橋 敏郎**
(S49年 建築科卒)

クリニックのプランから施工
リフォームの各種改修

〒239-0806 神奈川県横須賀市池田町 1-1-5-307
TEL・FAX 046-876-9218
携帯 080-3219-0976
E-mail: sawatsubashi.t@gmail.com

代表取締役 **折尾 崇** (H7年 機械科卒)

「出会えてよかった」といわれる会社でありたい。

お客様へ新しい価値を創造し地域社会に貢献します。お気軽にご相談ください。全力でご支援させていただきます。

株式会社 OriO

豊かな住生活と夢をお客様へ
不動産、賃貸、売買、コンサルティング
借地、相続、買取、リフォーム

東京都知事(2)第96006号
TEL.03-6805-4300 FAX.03-6805-2370
all@ml.orio-realestate.com
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-20-11-1F

健康経営優良法人 プライム500

総合建設業 **株式会社 松下産業**

建築・土木施工管理者・建築設備職
中途採用募集中!
担当: ヒューマンリソースセンター 齋藤

代表取締役社長 **松下和正**
創業者 故松下貞清 (S19年建築科卒)
顧問 **繁村隆巳** (S34年建築科卒)

他OB6名
東京都文京区本郷 1-34-4
TEL: 03-3814-6901 (代)
http://www.mats.co.jp

母校だより

建築科 機械科 情報技術科 生活科学科

建築科

同窓会関東支部の皆様には平素より様々なご支援ご協力いただき深く感謝申し上げます。

建築科では「時代の変化に柔軟に対応できる技術者の育成」を目標に、知識・技能の習得と各種資格の取得に取り組んでいます。

本科では今年二十四名の卒業生を送り出しました。コロナ禍で学校生活にも大きな制限があった三年間を過ごした生徒達でしたが、二十三名が就職、一名が進学、それぞれ希望する進路決定を果たすことができたところです。就職ではその多くが建設業への就職でした。

資格取得では前年度に引き続き、二級建築施工管理技術検定(学科)、建築CAD検定二級の合格者があり、数年前に二級建築大工技能士にも二名の合格者ができました。今年度もこれら

の資格検定に向け、希望者に対して支援を行っていくこととしております。

ものづくりに関しても「高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会 木材加工部門」に二年生が二名参加し、うち一名が優良賞に入賞しました。また、知覧図書館からの依頼により三年生の課題研究で「緑陰読書ベンチ」の製作を行い、市の広報誌などにも掲載されたところです。

今春は新たに二十一名の新人を迎えました。今後とも資格検定取得や高校ものづくりコンテストなどを通して将来の建設産業の担い手となる人材育成を目指して参ります。同窓会の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

同窓会関東支部の皆様には平素よりご支援ご協力いただき深く感謝申し上げます。

機械科の教育目標に「社会の変化に対応できる人生育成」とあります。コロナ禍で教育活動に制限や縮小を強いられた生徒たちでしたが、できることに目を向け真摯に取り組んでまいりました。

機械科の卒業生二十六名は夢と目標に向けて新たな一歩を踏み出しました。内訳は県内五名、関東地区四名を含む就職が二十名、進学が六名です。

資格検定は、3級技能士や2級ボイラー技工士等に積極的に挑戦し多くの合格者をだしております。

また、ものづくり教育に重点を置き、技能の習得と勤労の育成に努めております。

高校生ものづくりコンテスト

情報技術科

同窓会関東支部の皆様には平素よりご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。本学科の目標は「電気電子の知識や技術、プログラミングやアプリケーションの操作を学び、これからの情報化社会で活躍できる技術者を育成する」を掲げております。

学科の近況としては、今春十八名の卒業生を送り出し新たに二十二名の新入生を迎えました。

卒業生は入学時から、新型コロナウイルス感染症の拡大により各種学校行事等が中止・縮小となるなかでの高校生活となりましたが、進路については各自が希望する進路実現を果たすことができました。内訳としては就職が約八三%、進学等が約一七%で、就職者は製造業、電気設備業、事務、サービス業と全て希望通りの就職となりました。進学も自分の将来の目標を実現させるために進学しております。

コロナ禍やロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が続いており、世界中が不安定な状況下ですが、変化に対応し将来の夢実現のために資格取得にも励んでいます。危険物取扱者試験、第一種・第二種電気工事士試験、工事担任者試験、陸上特殊無線技士試験、電気工事施工管理技術検定等に挑戦し、合格を果たしております。

また、ものづくりコンテスト鹿児島県大会(電子回路組立部門)にも出場し、高度な技術取得にも励んでいます。

技術革新が速い中で基礎・基本に立ち返り、安全や危険予知を第一に、社会で活躍できる人材育成に取り組んでいきたいと考えております。

むすびに会員の皆様方の多岐面におけるご支援ご協力に感謝申し上げます。ご多幸とご健勝を祈念いたします。

同窓会関東支部の皆様方には日頃からご支援をいただき感謝申し上げます。

生活科学科では目標を地域社会への貢献と、自分自身の生活を見つめ生涯を見通した生活の課題を解決する力を養うと定めました。三月に二十五名の三年生を見送って寂しく思っていたところですが、四月に二十七名の一年生が入学し、新しいスタートも加わり一丸となって目標に向かって取り組んでいるところとです。

昨年度は三年生を中心に行事に取り組み、体育祭や文化祭、ファッションショーなど先輩から後輩へ、そして保護者や地域の方々へ、薩南工業生活科学科で学んだこと、身につけた技術を披露する場を作っていたいただきました。

生活科学科の卒業生二十五名はそれぞれが希望する進路へ進むことができました。内訳とし

溶接部門においては県大会団体と個人で優勝し、また九州大会では団体二位、個人優勝、さらに全国大会では個人三位となり素晴らしい結果を収めました。生徒と指導者の毎日の努力が実を結んだと喜んでおります。

今後の課題としては、機械科はここ数年定員割れが続いております。これまでの伝統を引き継いでいくためにも、機械科の魅力発信し、地域・社会に貢献できる人材育成に取り組んでいきたいと考えております。

ましては就職十五名、進学十名でした。就職においては製造業をはじめ、接客・サービスなど生活産業分野に限らず様々な職種へ進み、また進学においても四年制大学や農業大学校・短大など幅広く希望する進路へ進むことができました。

資格取得については、南九州市の資格試験補助事業等もあり、家庭科技術検定・被服製作・食物調理・保育技術・日本情報処理検定など多くの資格取得へ積極的に挑戦することができました。また、昨年度も家庭科技術検定において県内でただ一校、三年連続で四冠王を取得しました。今年度も生活科学科の生徒達は四冠王や三冠王を目指して意欲的に取り組んでいる状況です。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に同窓会会員の皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ものづくりコンテスト



電子回路実習風景



現場見学



知覧図書館 緑陰読書ベンチ作成

生活科学科

同窓会関東支部の皆様方には日頃からご支援をいただき感謝申し上げます。

生活科学科では目標を地域社会への貢献と、自分自身の生活を見つめ生涯を見通した生活の課題を解決する力を養うと定めました。三月に二十五名の三年生を見送って寂しく思っていたところですが、四月に二十七名の一年生が入学し、新しいスタートも加わり一丸となって目標に向かって取り組んでいるところとです。

昨年度は三年生を中心に行事に取り組み、体育祭や文化祭、ファッションショーなど先輩から後輩へ、そして保護者や地域の方々へ、薩南工業生活科学科で学んだこと、身につけた技術を披露する場を作っていたいただきました。

生活科学科の卒業生二十五名はそれぞれが希望する進路へ進むことができました。内訳とし

ります。同窓生の皆様のご助言とお力添えをよろしくお願いたします。

最後に、同窓会関東支部の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和四年十月二十八日に知覧祭(文化祭)が行われ、同窓生の展示として平山正義様(昭和四十九年建築科卒)が今まで手がけられたお仕事を分かりやすくパネルにしてくださり展示いたしました。

平山様は、平成三年に(株)アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマを設立し、多くの建造物に携わってこれ「三十年間の間に現実でできた仕事や作品をまとめました。皆様にご紹介させていただくと共に私たちのこれらの課題確認や新たな目標設定の機会にしたいと思っております」とのあいさつと共に四十枚のパネルを展示いたしました。

生徒を始め、多くの方がご覧になり、同窓生の活躍を見る良い機会になりました。また、生徒の進路実現の目標にもなったと思います。

お忙しいところ本校の行事のために準備してくださりありがとうございました。

ゆかたの君は

ファッションショー

旋盤実習

あっぱれ

令和四年十月二十八日に知覧祭(文化祭)が行われ、同窓生の展示として平山正義様(昭和四十九年建築科卒)が今まで手がけられたお仕事を分かりやすくパネルにしてくださり展示いたしました。

平山様は、平成三年に(株)アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマを設立し、多くの建造物に携わってこれ「三十年間の間に現実でできた仕事や作品をまとめました。皆様にご紹介させていただくと共に私たちのこれらの課題確認や新たな目標設定の機会にしたいと思っております」とのあいさつと共に四十枚のパネルを展示いたしました。

生徒を始め、多くの方がご覧になり、同窓生の活躍を見る良い機会になりました。また、生徒の進路実現の目標にもなったと思います。

お忙しいところ本校の行事のために準備してくださりありがとうございました。



ゆかたの君は



ファッションショー



旋盤実習



あっぱれ

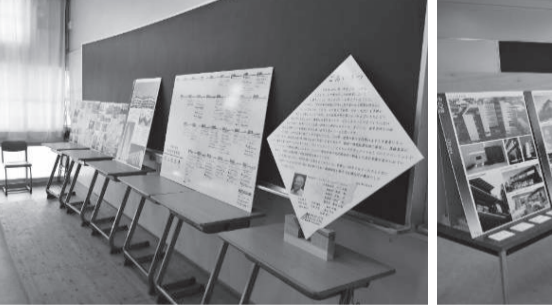
建築科卒 平山さんの仕事展

令和四年十月二十八日に知覧祭(文化祭)が行われ、同窓生の展示として平山正義様(昭和四十九年建築科卒)が今まで手がけられたお仕事を分かりやすくパネルにしてくださり展示いたしました。

平山様は、平成三年に(株)アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマを設立し、多くの建造物に携わってこれ「三十年間の間に現実でできた仕事や作品をまとめました。皆様にご紹介させていただくと共に私たちのこれらの課題確認や新たな目標設定の機会にしたいと思っております」とのあいさつと共に四十枚のパネルを展示いたしました。

生徒を始め、多くの方がご覧になり、同窓生の活躍を見る良い機会になりました。また、生徒の進路実現の目標にもなったと思います。

お忙しいところ本校の行事のために準備してくださりありがとうございました。



株式会社 アイデア設計
I-D-E-A

取締役会長
下前 和則 (S45年 建築科卒)

携帯090-8809-3820
Mail: shimomae@idea-tokyo.co.jp

東京事務所
〒156-0041 東京都世田谷区大原 2-23-15 大原ビル 5F
TEL 03-3327-4711(代表)
FAX 03-3327-4758

鹿児島事務所
〒890-0046 鹿児島県鹿児島市西田 1-5-9 第5鶴丸ハイツ 804号
TEL 099-814-8611
FAX 099-814-8688

貴社の電力設備を DELTAX の技術がサポートします

DELTAX Corporation

Device : 設備の省エネを考案します
Eye : 確かな目で診断します
Love : 愛情を持って点検します
Technique : 確かな技術で対応します
Action : 素早く行動します
eXecute : 満足の得られる点検を実行します

http://www.deltax.co.jp/
代表取締役 **小田代 洋** (S49年 金属工業科卒)

地元で育てられて、おかげさまで44周年

牧添土地家屋調査士・行政書士事務所

土地家屋の登記・調査・測量・境界確認の専門家
土地利用許可・会社法人設立等の
官公署許可申請の専門家

所長 **牧添 豊海** (S40年 土木科卒)

〒267-0061 千葉県緑区土気町370番地6
TEL 043(294)3766
FAX 043(295)3704

基板のことならお任せください

フェニックスアート株式会社

《業務内容》
プリント配線基板の設計
プリント配線基板の販売
レーザーフォト作画 など

代表取締役 **蘭田 哲昭** (S45年 電気科卒)

東京都三鷹市井口3丁目6番地16号
アップルかえで通りビル 202
TEL : 0422-33-5531 FAX : 0422-33-5875
support@phenix-art.co.jp

偉大な先輩を偲ぶ

永崎一則先生を偲んで

昭和四十六年 建築科卒 草原 陸 雄

永崎一則先生、ご親戚のみならず、謹んでお悔やみ申し上げます。
二〇二二年十二月末日、ご逝去から三ヶ月経ったところ訃報に触れいつも気さくに明るく振舞っていらしたことを想い出し悲しみに暮れました。

永崎一則先生との出逢い

永崎一則先生（以下「先生」と記載）との出逢いは関東支部の総会でのことでした。その総会の場で話されていたことが脳裏をかすめています。同窓会は一瞬一瞬を大切にしながら同時代を懸命に生きてきた証であるとおっしゃっていました。このことが胸に深く刻まれました。当時は建築科卒の大先輩というイメージがなかったのですが、話力の関連書籍を多く出版されているという理由でその後出版物を買い求めて読書に励んでいました。先生の大いなるエネルギーに感嘆したことを記憶しております。

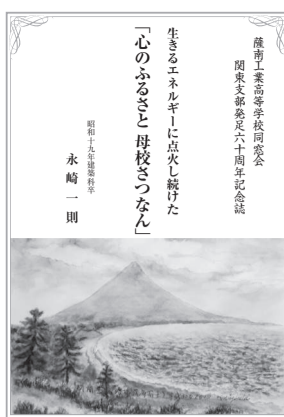
貴重な経験のこと

私は編集長として第三十一号（平成三十一年）の別冊として生きるエネルギーに点火し続けた「心のふるさと 母校さつなん」発行時のことです。

掲載の原稿添削や校正そして挿絵の挿入などを封書にて何十回となくやりとりしました。先生の文章に対する情熱を感じたこの年は関東支部発足六十周年記念という節目だったのです。そのことで先生に記念誌として原稿依頼を直接お願い申し上げました。先生は快く引き受けていただき、その後原稿を送っていただきました。先生の意気込みには驚き、一万字程度の長文の原稿でした。そこで編集部でいろいろ考慮して先生の原稿は別冊でいきましようかと結論ができました。このことを先生に申し上げ了解をいただいたことはすばらしい一瞬でした。話力向上講座に生涯を捧げる先生にとってこの長文で書くことによる喜びを感じていただけたこと、私も楽しくなりました。この長文を基に先生とは原稿の入替えなどで一ヶ月あまり封書による校正の交換が続きました。

先生への感謝のこと

会報誌ではいつも「私のできることはやります」と原稿の添削や校正において思いやりや気配りのたえることのない先生に助けいただきました。コロナの蔓延前ですが、先生と直接会う機会があり、すでに医療法人「リハビリの家」（高齢者集合住宅）に入居されている西浦和まで許可をいただき同窓会の先輩とともに訪問をいたしました。先生は時に笑顔で関東さつなん



「心のふるさと 母校さつなん」
生きるエネルギーに点火し続けた
「心のふるさと 母校さつなん」
永崎一則

った気持ちを書くことへの楽しさを教えていただき感謝します。そして「未熟な私の文章内容に長所を発見しコメントをいただきました。このことは相手のプライドを傷つけない配慮として学ぶことができました。同窓会が自分自身を鍛える場であ

永崎一則先生との出逢い

昭和四十九年 機械科卒 東垂水 隆彦

あれから五十年、永崎一則先生との初めての出逢いは高校三年生の時でした。

学校の体育館で全校生徒を前に講演をしていただきました。体育館の壇上の垂れ幕には「話力研究所長 永崎一則 建築科十九年卒業」とあり、みんなどんな講演だろうか？と、ざわざわと体育館内が騒がしい状態でした。

先生が壇上にながら「皆さん、こんにちは」と第一声を発しただけで館内がシーンと静まり返りました。その場面だけが強く印象に残っています。

後で知りましたが「話力研究所（後に話力総合研究所）設立が昭和四十七年十二月一日」とありましたので設立直後に講演を行ってくださったようです。

それから十二年が過ぎて関東に転勤し、初めて関東支部の同窓会に参加した際にあの日先生の「話力」に感動し聴き入った。先生が壇上にながら「皆さん、こんにちは」と第一声を発しただけで館内がシーンと静まり返りました。その場面だけが強く印象に残っています。



『月の砂漠』平成29年3月20日作

野崎耕二氏を偲ぶ

昭和四十四年 土木科卒 福留 勲

画文集「一日一絵」の著者で有名なイラストレーター野崎耕二先（昭和三十年土木科卒）が昨年（令和四年）六月にご逝去されてから約一年となります。

偉大な同窓の先輩が亡くなられたことは、われわれ同窓生としてたいへん悲しく残念に感じています。

野崎先輩は、難病の筋ジストロフィー症と闘いながら画文集を描き続けてきました。

多くの著書を出し、都内やふる里などで画展の開催もしています。なかでも画文集「からいも育ち」（筑摩書房）、「一日一絵」（日本交通公社）は、読者の多くの方々に生きる力と喜び、

さらに、先生の講評は「わかりやすい構成でよい文章ですよ」と褒められました。そして先生が一言「文章がうまくなるコツは何でもよいから多くの文章を書くことです」と付け加えられました。

その経験により、会報誌の原稿を依頼された時も逃げずに引き受けることができるようになりました。

文章を書くことは今でも苦手ですが、先生との出逢いで救われています。

講座参加が縁でしかも先生の自宅が隣の浦和市（現在のさいたま市）と近いこともあり、何かと声を掛けていただきました。高齢で足が不自由になられた際にはご自宅まで車で迎えに行き、役員会や総会に同行させていただきます。車中では貴重な体験談を直にお聞きすることもできました。

施設に入られてからもリハビリをされながら本を執筆し、また多くの添削もされているとのことでした。九十四歳の時にいただいた自筆の手紙は今では私の宝物です。

九十六歳でご逝去されました先生のご冥福を心からお祈りいたします。

画文集「一日一絵」の著者で有名なイラストレーター野崎耕二先（昭和三十年土木科卒）が昨年（令和四年）六月にご逝去されてから約一年となります。

偉大な同窓の先輩が亡くなられたことは、われわれ同窓生としてたいへん悲しく残念に感じています。

野崎先輩は、難病の筋ジストロフィー症と闘いながら画文集を描き続けてきました。

多くの著書を出し、都内やふる里などで画展の開催もしています。なかでも画文集「からいも育ち」（筑摩書房）、「一日一絵」（日本交通公社）は、読者の多くの方々に生きる力と喜び、

さらに、先生の講評は「わかりやすい構成でよい文章ですよ」と褒められました。そして先生が一言「文章がうまくなるコツは何でもよいから多くの文章を書くことです」と付け加えられました。

その経験により、会報誌の原稿を依頼された時も逃げずに引き受けることができるようになりました。

文章を書くことは今でも苦手ですが、先生との出逢いで救われています。

講座参加が縁でしかも先生の自宅が隣の浦和市（現在のさいたま市）と近いこともあり、何かと声を掛けていただきました。高齢で足が不自由になられた際にはご自宅まで車で迎えに行き、役員会や総会に同行させていただきます。車中では貴重な体験談を直にお聞きすることもできました。

施設に入られてからもリハビリをされながら本を執筆し、また多くの添削もされているとのことでした。九十四歳の時にいただいた自筆の手紙は今では私の宝物です。

九十六歳でご逝去されました先生のご冥福を心からお祈りいたします。

勇気、希望を与えてくれる」と一日一絵に精進されています。このことは、多くの人びとの温もりとふれあひとの感動はまさしく一期一会そのものであると綴っています。

車椅子による生活について、平成二年出版された画文集「一本の絵筆から」（童心社）の冒頭に当時の思いを自分に語りかけています。

原因も治療法も不明のまま、なすすべもなく病魔は進む「筋ジストロフィー症」でも、

電動車椅子でゆく街は人びとの温もりにつつまれ四季のいとおしさにあふれ道端の小さな草花に心を寄せ生命のかがやきが見えてくる

来し方 行く末を 絵筆に語り 問いかけてみた 長い年月を車椅子により過ごされた日常の生活のなかで、人と人との繋がり、自然への思いを大切にされていたことがよく描写されています。

難病の「筋ジストロフィー症」と闘い、粘り強い精神力により描かれた多くの作品は、われわれ多くの同窓生にとっても貴重な宝であり、力強い精神力を与えていただきました。

た。本当に感謝の念で胸がいっぱいです。心よりご冥福をお祈り申しあげます。

た。本当に感謝の念で胸がいっぱいです。心よりご冥福をお祈り申しあげます。

昭和45年電気科卒一同

- 学昭亭夫之弘夫治
- 哲亨春教義道孝
- 阿久根 田原 山中 山口 松取 塗



一本の絵筆から 野崎耕二 春樹子の四季

歴史をつなぎ 街なかをつなぎ 人をつなぐ

国登録有形文化財 「武蔵屋」まちかど博物館
館長 岩井宗志 (S40年 機械科卒)

〒270-1326 千葉県印西市木下1648-3
TEL: 0476-42-6127
e-mail: munesi@zpost.plala.or.jp

株式会社 クリエス

代表取締役 下前 和則 (S45年 建築科卒)

E-mail: k_shimomae@h-creas.co.jp
携帯: 090-8809-3820

〒192-0045 東京都八王子市大和田町5丁目17-33
内藤第2ビル301号室
TEL 042-649-1067 FAX 042-649-1068

だいやあだ しばいもんそ

白波

飲酒は20歳を過ぎてから。お酒は適量。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。

地理的表示「薩摩」及び品質を保護するマークについてはホームページでもご紹介しています。 https://www.satsuma.co.jp

株式会社 ピーエス技研

〈非常発電機の工事、保守管理の専門会社〉
〈総合電気工事会社〉

〒196-0002 東京都昭島市拜島町 1-8-2
TEL 042-549-1957
FAX 042-549-1958
http://www.psgiken.com

代表取締役会長 阿久根 学 (S45年 電気科卒)

支部会員だより



挑戦をしないことが、大きなりスク

私の出身は南さつま市金峰町白川です。通学は一年目は自転車、二年目に単車、三年目に家庭の事情で鹿児島市内から遠距離通学をする事になり、自動二輪車での通学許可を申請したところ、学校で第一号の自動二輪通学許可証との事でした。一年目の自転車での蟹ヶ地獄峠の坂上にはかなり体力を消耗し、登校してすぐに「早弁」そのあと授業を受ける日々でした。部活動はソフトテニスに明け暮れており、「みなとばし食堂」のラーメンで腹ごしらえをしてから下校、学生時代はいつも腹を空かした毎日だったことを思い出します。

卒業後、同級生の多くは県外の企業や大学進学、私は鹿児島市内の建築設計事務所就職しました。県外に出た同級生が少しうらやましく思いましたが、就職先は多忙な毎日で徹夜する日が続きました。先輩方と時間を共有することが多く、専門書の読書、建築学を勉強する機会が増え、気づいたら卒業後十二年が経って三十歳になっていました。一級建築士を取得して二年目、三十歳で独立すると夢を抱いており「挑戦をしないことが、もつと大きなりスクになる。(孫正義)を座右の銘として何の不安もなく独立しました。同じ時期に自宅の建設、第三子の誕生、父親の看病など慌ただしい毎日、思い返すと本当に無謀な時期の挑戦だったと思います。独立前は経営について学ぶ機会が少なかったですが、設計の仕事には自身を持っていました。独立後、仕事の依頼が無い日々が続く三ヶ月、半年と経つと資金も底をつき、事務所経営の大変さを肌身で感じた。幸い



出合い：世間は狭いな

昭和五十八年 郷之丸忠明 電気科卒

昭和五十八年に上京して暫くは同窓会の案内状が届いていましたが、仕事も忙しく会社の寮を転々としていましたので案内状も届いていませんでした。こんな私が同窓会と関わるきっかけとなったのが、仕事先でた友人から電話が入り、「今仕事は有るの？良かったら内の工場とマンションの複合ビル建設計画があり、設計を依頼したい」と二報が入り、即答で計画をさせて欲しいと嘆願して実現できました。それが弾みでその後、年に二、三件、翌年に五、六件と徐々に依頼が増え、現在六八歳となり独立して三十八年目となりました。

長く事業経営をしていると、色んな団体から役職を引き受けて欲しいとお声がけをいただきます。昨年からは鹿児島県建築士事務所協会会長、鹿児島市内のライオンズ(最高運営責任者)、プライベントでは昨年、国土交通大臣より「住・住宅月間賞」を受賞、また鹿児島大学院(理工学)修了、更生保護協会評議員などを務めております。幸い会社は次男が継承しておりますので、今後いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っております。今年二月、山形に移住していた同級生が、不慮の事故で天国へ旅立ちしたと訃報を受けた際、即座に同級生同士で情報を共有し、哀悼の意を伝え合いました。本日に薩南工業高等学校四十九年卒業同級生は最高の友達だと今更ながら感じています。結びになりますが、物心両面から温かいご支援を賜っており、母校薩南工業高等学校、同窓生、並びに諸先輩方に、深甚なる感謝の意を表します。また「関東さつなん」のご盛況と皆様のご活躍を祈念しております。

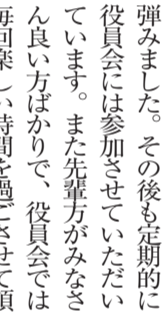


仕事Ⅱ 知識×情熱×考え方

昭和四十九年 若林辰郎 機械科卒

十八歳で都会に憧れ、神奈川県の中小機械部品メーカー「オイルレス工業」に就職した。(オイルレス工業)の開業した油を注す必要が無いと機械部品名の登録商標です) 新人研修で同郷出身者が多いのに驚きましたが、創業者が鹿児島県の始良町出身とのことで納得しました。最初の職場は藤沢工場で検査係でした。その後、滋賀工場に転勤となりプレス係で騒音の汗と油にまみれての現場でモノづくりです。

会社の進捗制度を利用して京都の理工系の夜学に通い、卒業後は開発と設計の職場に配属となり、開発では他社より優れた製品を開発すると情熱を持って挑戦してきました。その後、名古屋に転勤し新分野で建屋の



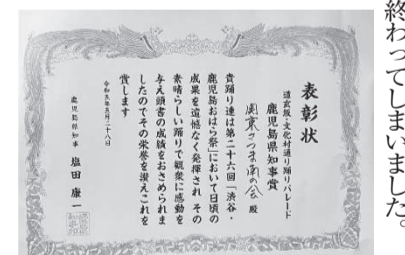
「渋谷・鹿児島おはら祭 2023」に参加して

昭和四十八年 田中逸穂 機械科卒

五月二十八日晴天の中、第二十六回渋谷・鹿児島おはら祭が渋谷駅周辺で開催されました。毎年五月下旬ごろ土・日曜日に渋谷109前を交通止めにして、道玄坂・文化通りをメイン会場に開催され、まさに、南九州最大の「おはら祭り」を東京・渋谷での再現です。由来は「渋谷」と「鹿児島」の縁古く鎌倉時代に所領を得て、一族が薩摩に移住したとあります。その流れを汲む「ふるさと」への思いを強くする祭り、当時の渋谷区長と鹿児島出身の経済人のご尽力で平成十年四月に始まった大きなパレードです。関東四十七連・鹿児島八連が出場、約二千人の踊り手によるパレードで渋谷駅周辺の一部道路を交通止めにするため盛大に盛りだくさんです。一見の価値があります。

弾みました。その後も定期的に役員会には参加させていただいています。また先輩方がみなさん良い方ばかりで、役員会では毎回楽しい時間を過ごさせて頂いております。ゴルフ、自転車釣りなど趣味の話でも盛り上がり気軽に会話ができるのが最高に嬉しい一時です。こんな素晴らしい役員会を紹介していただき小田代先輩には大変感謝しております。今までは「卒業してから母校には何の恩返しもできていませんし、何か恩返しができることあるかも」と日々思いながら同窓会関東支部の活動にはできるだけ参加をしています。今後同窓会関東支部が母校と同窓生をつなぐ架け橋となり続けられるように微力ながら頑張りたいと思っております。

「人と人が会うことで仕事が生まれる」その思いに至ったとき、訪問を重ねることで「冷たい対応」も徐々に融け、少しずつ世間話をする様になりました。今度の施主に紹介したら設置したい」との声を徐々に増加。情熱がその人の心を動かしたのです。困難な仕事を体験して「仕事Ⅱ知識×情熱×考え方」や創造することの難しさを痛感しました。未完の地を切り拓いた創業者に深謝の念も抱きつつ我々も同様の責務が大事と、考える様になりました。六十歳となり再雇用でも新たな土木部門への挑戦でした。道路、鉄道、港湾等の社会インフラを設計する建設コンサルへ製品の売り込みでの九州担当です。百社あまりの客先リストを作成し「人と人が会うことで仕事が生まれる」の考え方で何回も訪問を繰り返して徐々に商談が実現しました。知名度の無かった九州地区で後輩に「新たな市場」を残せたのは創業者の思いに少し



表彰状 鹿兒島県知事賞

関東さつなん 普通科有志 東 治男 (S32) 松山達郎 (S32) 中木原盛夫 (S33) 下野敏孝 (S33) 普通科一同

関東さつなん 機械科卒有志 勝弘 (S37年卒) 充廣 (S37年卒) 勝男 (S37年卒) 秀朗 (S38年卒) 宗志 (S40年卒) 正則 (S41年卒) 正孝 (S41年卒) 晴久 (S42年卒) 逸穂 (S48年卒) 東垂水隆彦 (S49年卒) お元氣ですか…… 同窓会で飲みましょう。

祝 関東さつなん36号 何を創るかはおまかせします。 知的創造 必要などきに、必要だけ。 株式会社 盈進社 代表取締役社長 下園典子 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東専堂ビル5F TEL 03-3262-3471代 FAX 03-5210-7226 URL: www.eishinsya.co.jp Eメール: info@eishinsya.co.jp

パレード終了後、受賞連の発表・表彰式がありました。なんと我が踊り連が「鹿児島県知事賞」を受賞することができました。初めての参加で感無量です。踊りのご指導頂きました下園社長、また、我が薩南工業からは踊り手の柿迫さん・ブラカード担当の郷之丸さん、関東さつなんの会へのご協力いただきましたみな様方に感謝申し上げます。 また、来年も盛大に開催できることを願っています。 『関東さつなんの会』の皆さん 我が関東支部からも3名参加

鹿児島県立薩南工業高等学校同窓会関東支部役員名簿 (案)

令和 5 年 8 月 5 日 現在

Table with columns: 役職名, 氏名, 学科, 卒年, 住所. Lists members including 阿久根学, 中木原盛夫, 桑木野智, etc.

Table with columns: 顧問, 氏名, 学科, 卒年, 住所. Lists advisors including 田代實範, 東治男, 松山達郎, etc.

編集後記
昨年十月に三年ぶりに支部総会が開催されました。コロナ前と同様紙面トップに総会模様を掲載することができました。

令和 4 年度 ~ 令和 5 年度 会務報告

Table with columns: 年月, 日, 内容. Details meeting schedules and reports from July 2022 to July 2023.

【役員のみなさまのご理解とご協力で令和 4 年から 5 年にかけて会務を滞りなく運営できました。ほんとうに感謝申し上げます。

令和 3 年度 関東支部会計報告 (案)

令和 3 年 7 月 28 日 ~ 令和 4 年 7 月 25 日

Financial report table with columns: 収入の部, 支出の部. Shows income and expenses totaling 1,358,231 Yen.

令和 4 年 7 月 25 日
上記の通り、報告いたします。
会計 篠原 孝志 吉留 浩
会計監査報告
上記決算書について、会計帳簿(集計表)及び領収書、通帳記録、付属明細書等について、監査した結果、期日、金額、残高など適法かつ正確であることを認めます。

訃報

永崎 一 則様 (建築科昭和 19 年卒)
令和 4 年 9 月 23 日逝去 96 歳

古市 仲 様 (冶金科昭和 26 年卒)
令和 5 年 1 月 5 日逝去 90 歳

福元 倉 吉様 (冶金科昭和 38 年卒)
令和 5 年 1 月 7 日逝去 78 歳

ご冥福をお祈り申し上げます。

関東さつなん

電気科・情報技術科役員一同

- 副会長 桑木野 智 第 1 回 S 41 年卒
副会長 山崎 幸雄 第 1 回 S 41 年卒
会長 阿久根 学 第 5 回 S 45 年卒
幹事 柳 絹子 第 7 回 S 47 年卒
幹事 佐藤 高峰 第 7 回 S 47 年卒
幹事 郷之丸忠明 第 18 回 S 58 年卒

笑顔あふれる...我が科のテーブルで年にいっど位は大いに楽しみませんか。

おじゃったもんせ!!

豊富なかごんま料理と焼酎で待ちよっもんで!!
郷土料理

薩摩の里

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-18-10-2F
TEL 03 (3363) 3258
FAX 03 (3350) 1483
店主 山下由人
(知覧町中郡出身 昭和 48 年 川辺高校卒)

スナック愛上男(あいうえお)

お近くにお越しの折にはぜひ、お寄りください。
知覧弁の通じる店です。

〒196-0015 東京都昭島市昭和町 5-14-6
昭島駅徒歩 2 分
TEL 042-546-6977

畠中 光江 知覧町中郡出身
(昭和 44 年 川辺高校卒)

関東知覧会

- 会長 前原 東二 (機 S41)
副会長 尾品 千草
事務局長 蔵塗 兼清
副事務局長 瀬戸 清欣
副幹事長 永野 一子
副幹事長 方野 春子
事務局長 小井 和洋
事務局長 折井 啓光
監事 大井 隆雄
監事 折井 隆夫
監事 折井 幸夫

今年の第 32 回 総会開催日.....
令和 5 年 10 月 15 日 (日) アルカディア市ヶ谷
親戚・知人の皆さん お誘いください

星のふる町: やすらぎの里 関東さつま川辺会

- 会長 内村 哲也
副会長 山下 裕一郎 (兼任)
副会長 川原 修二
副会長 峰元 政公 (兼任)
副会長 田中 勝之 (兼任)
幹事長 峰元 政公
副幹事長 有村 公美子
会計(正) 下之蘭 理子
会計(副) 山下 裕一郎
会計監査 加瀬 美千代
会計監査 足立 玲子
事務局長 草原 陸雄
事務局 田中 勝之

事務局 (事務局長宅) 〒301-0022
龍ヶ崎市南が丘 2-12-11
TEL 080-2009-3424 草原陸雄 (建 S46 卒)
E-mail kusahara28117@ymail.ne.jp (pc)
kusahara28117@gmail.com (携帯)

建築科 33 卒会 (関東地区会員)

「青春の母校よいつまでも」

- 今給黎昌俊 真畑 正盛
上蘭 建藏 中川 笑子 (建築科 37 年卒)
神門 静庵 幹事 川崎 明
加治佐 茂 幹事 川野 利弘
後藤 實 幹事 紀 健次郎
新澤 勝 幹事 塗木 幸夫
二田 満徳 幹事長 宿里 耕平
前山 一夫

事務局 〒192-0364
東京都八王子市南大沢 4-13-1-402
宿里 宅

鹿児島直送のさつまあげ、いも焼酎が飲める店

神田駅北口徒歩 30 秒

さつま

〒101 0047 千代田区内神田 3-21-2
TEL 03-3252-8728
店主 中川 笑子 (旧姓馬場)
(S37 年 建築科卒)